



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

- 大学案内
- 入試情報
- 教育・学生生活
- 研究
- 社会連携
- 留学・国際交流
- 学部・大学院等
- 研究所・施設等
- 広報・報道
- 採用情報
- 校友会・同窓会
- 支援財団・基金
- 図書館・博物館等
- 大学病院
- 附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 認定看護師教育部門の修了式のお知らせ

認定看護師教育部門の修了式のお知らせ

NEWS RELEASE



広島大学広報グループ  
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2  
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040  
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp  
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成20年2月18日

認定看護師教育部門の修了式のお知らせ  
第一期生28人が修了

広島大学大学院保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター(センター長:横尾京子)では、平成19年度認定看護師(緩和ケア)教育部門の修了式を、下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成20年2月22日(金) 午前10時～  
場 所 広島大学医学部 保健学科棟 2階206号室  
広島市南区霞1-2-3

【認定看護師とは】

社団法人日本看護協会(住所:東京都渋谷区神宮前5-8-2、TEL:03-5778-8831)が認定した教育機関の課程を修了後、同協会が行う認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる者をいいます。

認定看護師は、看護現場において、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的とした資格認定制度です。平成10年10月に日本看護協会の看護研修学校で、ホスピスケア(現 緩和ケア)認定看護師教育が開始され、現在では、認定看護師の教育機関は全国に31機関あり、そのうち、緩和ケア分野を設置している機関は7機関です。

広島大学では、平成19年4月、大学院保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター内に、緩和ケア分野の認定看護師教育部門を設置し、教育を行っています。

授業科目等の詳細は、別紙のとおりです。

 [認定看護師\(緩和ケア\)教育部門:詳細](#)

【お問い合わせ先】

広島大学大学院保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター  
認定看護師教育部門 (保健学科事務室内)担当:藤本  
TEL:082-257-5341  
FAX:082-257-5344  
E-mail:bimes-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp  
(@は半角@に置き換えた上、送信して下さい。)

広大公式アカウント一覧

-  Twitter
-  Facebook (日本語版)
-  Facebook (英語版)
-  YouTube
-  行事カレンダー
-  ストリートビュー
-  キャンパスカメラ
-  学内ポータル

広島大学大学院保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター

認定看護師（緩和ケア）教育部門

1. 教育目的

- 1) 緩和ケアを受ける患者と家族の支援に関する最新の知識と技術を習得し、水準の高い看護実践ができる能力を育成する。
- 2) 緩和ケアの領域における役割モデルとして看護者の指導や相談に対応できる能力を養い、看護の質の向上を図る。

2. 認定看護師教育部門・教育期間・入学定員

- 1) 認定看護師教育部門名：緩和ケア
- 2) 教育期間：6ヶ月【2007年9月3日（月）～2008年2月22日（金）】
- 3) 入学定員：30人
  - \*入学式：2007年9月3日（月）
  - \*修了式：2008年2月22日（金）

3. 期待される能力

- 1) 患者を全人的に理解し、専門技術を用いて苦痛の軽減を図り、患者と家族の QOL を考慮し、療養の場に応じた日常生活の充実に貢献することができる。
- 2) 患者と家族が体験する喪失と悲嘆のプロセスを理解し、グリーフケアなどの適切な支援を行うことができる。
- 3) 苦痛を軽減する専門技術を生かし、チームメンバーへの適切な指導や相談を担うことができる。
- 4) 緩和ケアにおける看護の役割を理解し、施設内および地域におけるチーム医療を効果的に促進できるような役割を果たすことができる。
- 5) 緩和ケアを受ける患者と家族の人権を擁護するために、適切な倫理的判断を行うことができる。

4. 教科目および授業時間数

共通科目 120	専門基礎科目 75	専門科目 195	学内演習 60	実習 180
<必須>	緩和ケア総論 30	症状緩和と援助技術 105	総合演習 60	臨地実習 180
リーダーシップ 15	がんのプロセスとその治療	がん患者の心理過程と		
文献検索・文献講読 15	15	その支援技術 30		
情報処理 15	臨床倫理 15	がん患者の家族への支援 15		
看護倫理 15	緩和ケアにおけるストレス	緩和ケアにおける		
教育・指導 15	マネジメント 15	チームアプローチ 15		
コンサルテーション 15		地域における緩和ケア 30		
<選択>				
対人関係 15				
看護管理 15				
総時間数 630 時間				